

平成 3 0 年

オリンピック・パラリンピック  
推進特別委員会会議録

と き 平成30年8月29日

品 川 区 議 会

平成30年 オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

日 時 平成30年 8月29日 (水) 午後 1 時00分～午後 4 時10分  
場 所 品川区議会 議会棟 6階 第1 委員会室

出席委員	委員長	いながわ 貴之 君	副委員長	鈴木 真澄 君
	委員	伊藤 昌宏 君	委員	本多 健信 君
	委員	石田 秀男 君	委員	塚本 よしひろ 君
	委員	あくつ 広王 君	委員	つる 伸一郎 君
	委員	南 恵子 君	委員	鈴木 ひろ子 君
	委員	のだて 稔史 君	委員	大倉 たかひろ 君
	委員	田中 さやか 君		

出席説明員	中山 企画部長	柏原参事 (企画調整課長事務取扱)
	安藤文化スポーツ振興部長	立川文化観光課長
	池田スポーツ推進課長	辻オリンピック・パラリンピック準備課長

○午後1時00分開会

## ○いながわ委員長

ただいまから、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付の審査・調査予定表のとおり、特定事件調査、報告事項、その他および視察を予定してございます。

また、視察の関係で、午後2時50分ごろには庁舎を出発したいと考えておりますので、効率的な委員会運営にご協力をお願いいたします。

なお、本日は1名の傍聴申請がございますので、ご案内申し上げます。

---

### 1 特定事件調査

オリンピック・パラリンピックの推進に関すること

## ○いながわ委員長

まず初めに、予定表の1、特定事件調査を議題に供します。

本日は、オリンピック・パラリンピックの推進に関することのうち、「ボランティアの育成・確保についてなど」、および「区独自の取組みについてなど」を議題に供してまいります。

まず初めに、「ボランティアの育成・確保についてなど」ですが、前回の委員会において、ホッケー機運醸成ワークショップ「みんなで考えよう！ホッケー×2020×品川区」の開催結果を踏まえ、大会の機運醸成と賑わいづくりを区民参加で行うための方策等について議論し、ホッケーの競技会場となる都立大井ふ頭中央海浜公園とその最寄駅でございます大井競馬場前駅の視察を行いました。

本日は、その視察を受け、競技開催時に注意すべきことなど、委員の皆様がお気づきになった点について意見交換を行ってまいりたいと思います。また、理事者に確認したいこと等がある場合は、ご意見と一緒にご質問いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、私から順次ご指名をさせていただきますので、ご意見をいただければと思います。

急には難しいかもしれませんが、なかなか意見が出ないケースもございますので、大井競馬場の視察も踏まえて、それぞれの経験、あとは直感もさまざまあるかと思います。その中で、品川区がやるべきこと等いろいろあるかと思いますので、お気づきになった点で構いません。自民党・子ども未来から順にご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

## ○伊藤委員

私個人の意見で、話は少し違いますけれども、アニメーションで「ハタチの龍馬withクロフネくん！」をつくられましたよね。あれはすばらしいのですよ。だから、この3競技応援キャラクターをうまくコラボレーションできないのかなと。それから、ハタチの龍馬のアニメーションの中で、東京2020大会の、例えばコラボレーションであるとか、それから3キャラクターがそこに入っていつて競技を紹介していくとか、いろいろ展開できる可能性があると思うのですよ。しかもYouTubeで無料だし、多くの方々にご覧いただけるかと思うので、それを検討してみたいかと思うので、それを検討してみたいかと思うので、よかったです。

あともう1つ、立会川駅前の、やはりインフラ整備がおこなわれている感じもします。大井ふ頭中央海浜公園周辺の整備は進んではいますが、立会川駅からそこまでの間のインフラ整備であるとか、案内看板の設置であるとか、歩道・自転車道路等の整備がほとんど手がつけられていないので、ずっと言ってきたはいますが、オリンピックに合わせてぜひ立会川周辺も検討していただきたい。

をしておきます。よろしくお願いいたします。

**○いながわ委員長**

ありがとうございます。

もし、理事者のほうで、今のご提案の中で、3キャラクターとのコラボ、あとはやはり立会川、ホッケー競技会場の最寄りの駅は大井競馬場前駅なのですが、もう1つ付近で言うのであれば立会川駅だと思うのですが、もし理事者のほうで何か補足ですとか、今、品川区としてのお考えがあれば、ご答弁いただければと思います。

**○辻オリンピック・パラリンピック準備課長**

ハタチの龍馬、私も非常におもしろく見ております。せっかく同じ部なので、ハタチの龍馬、それからシナモロールですね。そのあたりとのコラボも来年度以降考えたいと思います。

**○いながわ委員長**

ありがとうございます。

**○中山企画部長**

立会川駅近辺のインフラという話です。なかなか、駅前と言っても大きなターミナルがあるわけではない、しかしながらオリンピックの会場の最寄りということで、かなり工夫を要するので、例えばですけども、今後は、Wi-Fi環境の整備であるとか、あとはやはり商店街との連携、旧東海道等、そういったようなことにオリンピックを加えていく、この辺はハード部隊、それぞれの部門と連携をしながら、今後ピッチを上げて進めていきたいと考えているところです。

**○いながわ委員長**

ありがとうございます。

**○本多委員**

大井ふ頭中央海浜公園を視察させていただいたときに、ホッケーの会場が工事中で、フェンスで仮囲いしていたところに、品川区の小・中学生と大田区の小・中学生の絵、イラストが描かれていました。あそこであれを目にする人はそれほどいないと思うので、もったいないなと率直に思いました。すばらしい作品もたくさんあって、もう少し多くの人に知ってもらえるような、機運醸成で、開催までの年月を実施するのはわかるのですけれども、開催中も見てもらえるぐらい、すごくいいものだったなという感想です。

それと、大井ふ頭中央海浜公園の駐車場、道路のことなどなので所管が違ってしまって申しわけないのですが、駐車場が普段から出入りの際にお金を払ったりする関係で詰まってしまっているときなどがたまにあるので、今後、その辺をもう少し改善する必要があるのかなと思いますし、あとは出口、出て左に、左折しかできないのですね。あれを右折できるとか、アスリートを選手村から会場まで運ぶことが区の役割にも入っていますので、その辺の道路など、細か過ぎて申しわけないのですけれども、もう一度総点検したほうがいいのかなと思いました。

**○いながわ委員長**

ありがとうございます。

**○石田（秀）委員**

私が、思っているのは、例えば大井競馬場前駅から競馬場へ入るときに、壁に結構すばらしいパネルと言うか絵がプリントしてあるではないですか。ホッケーならホッケーでいいのだけれども、ああいう状況のものが大井競馬場前駅にない。なぜこのようなことを言っているかというと、アーバンスポーツ

を7月に見てきたとき、広島で駅を降りたら、駅から会場ぐらいいまで、もうアーバンスポーツのコーナーがいたるところに、例えば駅の構内の階段を下りていく壁など、いろいろなところにそういうのがあって、これはアーバンスポーツをやるのだなというのが一目でわかるような、そういうものが大井競馬場前駅にできるのか。どちらかと言うと自動販売機ばかり目立っているような形なので、ああいう壁、自動販売機を利用できるか。

それから、あと、予定がわからないのであれなのですが、できれば、会場は早目にできるわけではないですか。来年できてきて、舟でも何でもやったときに、1回オリンピックと同じぐらいのレベルで、例えば橋の上へのぼりをずっと立てるとか、先ほど会場のところに子供たちの絵というところがあったけれども、そういうことではなく、逆に意識してそういうものをやるとか、そういうときに合わせて試しにイベントを打ってみるとか、そういう企画を今からやらないとそちらは間に合わないと思うのですよね。試しにやってみて、本番のときにこういうのと、品川区も、組織委員会なり何なりに提案できるではないですか。そういうのをやらせてほしいというようなことを意図的に、もう、すぐ決めて、特に予算も必要なことかもしれないので、今決めて、来年のプレぐらいのときにそういうことを試しにやるということが非常に大切で、そのとき、どのように出てくるかわからないけれども、ボランティアの話も含めて、そういうものも全部できてくるということ、区としてやってみるといのは必要なのではないのかなと。

大井競馬場前駅の周辺、後は、これがだめと言われているのはわかっていてあえて言うのですけれども、橋脚が結構見えるではないですか。モノレールの。そういう橋脚にまで、やはりそういうときはいろいろなものをやるということはあるだと思っているし、あとは浜松町の駅と羽田空港の駅とか、そういうのにも全部やれるような形をとってもらおうとか、そういう折衝というのは今から始めたほうがいいと思うので、その辺はぜひお願いしたいと思います。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

駅からの道すがらといったところ、やはり駅に降りて会場に向かうわくわく感というものは私もあったほうがいいと思っています。そこはラストマイルと言いまして、最寄りの駅から会場までの間に何が必要か、簡単などころで言いますと仮設のトイレであるとか、暑さ対策であるとか、道案内のボランティアであるとか、いろいろなものを東京都を中心に考えていますが、それで足りない部分、もっとできる部分がやはり区としてもあると思いますので、そこは東京都のほうと早くから折衝しながらやりたいと思っています。

それともう1点、来年度のイベントの件なのですが、どの競技も1年前にはテストイベントという形で、本番と同じように、同じ時期に、暑さであるとか動線であるとかを考えながらやってみることがあります。それに合わせて、私どもも、1年前イベントというのも来年また実施するつもりですので、どのようにコラボして一緒にできるかであるとか、恐らく、会場周辺というのは組織委員会の場所となってしまうと、なかなか難しいかなと思うのですが、協議しながら、どこかでコラボレーションしながらできることを考えて、早目に、もう来年の話ですので、計画していきたいと思っています。

#### ○石田（秀）委員

その際、ぜひ、わくわく感でもいいのですけれども、暑さの対策もあるので、もちろん道すがら、橋

の上でもいいのですけれども、例えば全部片側はミストを設置してしまうとか、そういうのもありだろうし、例えば帰ってきた人に、帰りがけでもいいし、行きがけに気がついて帰りがけに競馬場へ誘い込む。競馬場も合わせていろいろなことをしてもらおうとか、多分そういうこともできるでしょうし、多分その時期だと競馬場はナイターだと思いますので、そのときに、競馬だけではなく、競馬場でさまざま、いろいろなイベントが打てるわけではないですか。広場で既にやっているわけで、そういうところも活用する。それで、競馬場にはいいレストランも今あるではないですか。そういう、例えばバックができるなら、よく海外でそういうオリンピックなどを見に行くとき、リオなどでも、チラシが来るとそういうセットのバックみたいになっているのがあるではないですか。そういう人を、逆に呼び込んでしまうとか、そういうことも、競馬場を含めて旅行代理店とそういう話をするとか、そういうことがありなのではないかなと思うので、これもぜひ一緒に検討していければと思います。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

1点確認なのですけれども、先ほど、最寄りの駅からのぼりを立てるというお話があったのですが、その最寄りの駅というのは、先ほど伊藤委員からのお話があった立会川の駅というのも最寄りの駅という判断に、行政、所管としてはなっているのかどうか、確認をお願いします。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

今のところ、正式な表明では、大井競馬場前駅が最寄り駅と指定されております。しかしながら、会場までの動線を考えれば、もちろん立会川、それから大井町あたりも、私どもの中では使われる駅として想定はしておりますので、そのあたりにぎやかであるとか、案内をすることは考えていきたいと思っています。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございました。

続いて、公明党お願いします。

#### ○塚本委員

視察をして感じたところで、1つは今少し話が出ていましたけれども、動線というところで、モノレールの大井競馬場前駅から、特に会場に向かっていく橋なども含めてなのですけれども、自転車はどういう扱いになるかということで、車道は自転車を通らないようになっているような話を聞いているので、橋の歩道側と言うのですか、そういうところを自転車も通ることがあるのだろうと思っているのですけれども、その辺はうまく分離と言うか、自転車通行帯のようなものもあったほうがいいのかとったりもしたのですが、どのように考えているのか、もし何かあればお聞きしたいと思います。

それから、あとは、皆さん思っていると思うのですけれども、やはりたいへん暑かったので、特に見に来られる観客の方々に対する暑さ対策というのは、いろいろ考えられているとは思っています。サマータイムの話などもありますけれども、どうなるかわからない中で、その暑さ対策というのはしっかりしていないと。この前、ビーチバレーボールの大会がお台場であり、見に行かせてもらいましたけれども、本当に、いい天気で非常に暑かったです。直射日光にあると少しきついですね。やはり、長い時間見ているというのは。そういうのを考えるとやはり、見ている側の暑さ対策だけはしっかりやらないと、そうでなくてもホッケーに対する観客動員というのは1つの課題だと思いますので、そういうところについては大事になってくるのかなと思います。その辺はしっかり、東京都としても、組織委員会としても考えてらっしゃるとは思いますけれども、対策をしっかりやっていただきたいと思ってい

るところです。

#### ○いながわ委員長

自転車のことなど動線について何かありますか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

委員ご指摘のように、自転車は車道というのが今もうルールとしてあるところですが。やはり、通ってみるとそんなに広いところではなくて、あそこで歩く観客と自転車と一緒になってしまうと、接触も心配されるところでございます。自転車をどのように、自転車道路をつくるのかなど、そのあたりは東京都と相談しながら要望していきたいと思っています。

もう1点、暑さ対策の話ですが、東京都のほうで暑さ対策の検討委員会というのを設けていて、1つは恒久施設に対しては、例えば壁面の緑化であるとか、あとは屋根をつけるであるとか、今ある植栽の刈り方、切り方も、2年後にうまく日陰ができるように切るようなことをしたりであるとか、あとは海外の方に向けて熱中症の予防のインフォメーションもあらかじめしていくというようなことを予定していると聞いています。それだけでは足りない部分もございますので、実際のときには区のボランティアを使うなど、そこはまだ検討中ですが、暑さに対する対策を皆さんにさせていただくようなことを確認していきたいと思います。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○あくつ委員

前回、見せていただきまして、非常に東京モノレールの熱意というものを感ずることができました。ただ、今まで5日ぐらい非常に暑かったというところで、幾つか同じ意見も出ているのですけれども、やはり大井競馬場前駅から会場までの動線、それほどすごい距離ではないですが、徒歩で歩いて一応10分以内ということになっていると思うのですけれども、先ほども出ていましたけれども、ミストであるとか、遮熱塗装、あとは何か日陰になる部分をつくっていただきたいなということもあります。

それと、暑さの部分もそうなのですけれども、あとは雨等がもし降った場合のことも考えて、費用対効果もあるのでしょうか、そういう雨よけみたいなものも考えられるのかなと、その辺は東京都と協議していただきたいと思います。

それと、あと、これも先ほど同じような意見も出たので、少し違う角度で。大井競馬場前駅もここから降りて、あとはもう試合が終わったらそこから帰ってしまう方も多分多くいらっしゃるのかなというところで、例えば、駅に文化プログラムのほうの何か展示をしていただく、一部でもいいので。あとは立会川の商店街のほうで文化プログラムのイベント。これが可能なかどうか、組織委員会が認めてくれるのかどうかわかりませんが、品川区としての、例えば大道芸であったり、アール・ブリュットであったり、そういうものを組み合わせて、スポーツと文化のイベントということをぜひやっていただいたほうが、品川の魅力発信というところで、スポーツで終わらない、文化というところで組み合わせをしていただきたいと思います。

ホッケーと文化プログラムとの関係について、別の場所でやらなければいけないとか、それとも、できるだけそういう転換性を持たせてやったほうがいいとか、その辺のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

文化プログラム等の話なのですが、私どももホッケー、ビーチバレーボールなり、見た後に区の中を

回遊していただく、品川区の魅力を十分に楽しんでいただくような方策はないかというのは、常々考えているところでございます。自分自身でも、例えば海外旅行に行くときに、どこに行つて、その後どうするというのは、大体インターネットとか旅行の情報誌で、行く前に決めてしまうことが多いと思いますので、ホッケー会場に来た人に、このようないいものが品川にありますよと、その場で言ったり渡してもなかなか回つてはいただけないと思います。ホームページ等で先に発信して誘致するような方策であるとか、そういったことを私どもも考えていきたいとは思っております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○つる委員

もうほとんど、ハード面とかソフト面とか両方出ているので、それぞれ各委員から出たものをしっかり進めていただきたいのと、これはもう基本的なことですけれども、そうした機会を捉えてと、何度も表現されていますが、品川の区民の発展であるとか、それに間接的でも直接的でもつながるような取り組みと申しますか、それは区としてできることだと思います。それをしっかりやっていただきたいと思います。

暑さ対策等は、もう先日の視察でも十分、私自身も感じたところなので、事故とか病人とか、そういうのが大なり小なりあるとは思うのですけれども、極力そうしたことがないように、区としてできることというので、この間出ているような対策をとっていただきたいと思います。

あと、区としてできることというアイデア的なところの話になってしまうかもしれませんが、基本、現状は大井競馬場前駅が中心となる最寄りの駅ということと、あとは立会川駅ということになってくると、これもずっと言われていることですが、例えば区民の方とか商店街の方とかにご協力いただくことなのかもしれませんが、暑さ対策などをやる時も、夏の風流さを感じていただくというところでは、対応するスタッフとかボランティアに浴衣を区として何かしら貸与などをして、少しでも、時代で言えば江戸とか、そういう宿場町で栄えたわけですから、江戸の情緒を感じられるような品川らしさと言うのでしょうか、そういうような支援などを、例えば地域の方に協力を得る形でしょうけれども、提供して、来訪される特に外国人の方などに、やはり日本のそういうところに来て思い出になるとか、そういう雰囲気作りということも大事なのだろうなど。だから、品川の特徴として言われる都市と、それから風情を感じられる、それをまさにスポット的に体现できるような形もいいのではないかなと思うのです。

あとは、動線の制限があると思うので、なかなか難しいと思うのですが、そういうコスチューム的な形で浴衣とか、そういったことに合わせて、例えば本当に宿場町でありますから、かごで会場まで運ぶようなサービスとか、これは浅草などで成人式するときなどに個別のお願いをしている新成人もいましたけれども、そういうようなこともあってもいいのかなど。全体の動線に迷惑にならないような形で、限定的なメニューで、それこそ先ほど少しあったような旅行会社等々とコラボするような何かしらの限定的なメニューでもいいと思うので、そういうのもあってもいいかなど。

あとは、例えば大井競馬場とも協力して、引退した馬であるとか、それからポニーであるとか、そういうものを活用しながら、馬で風情のある形をつくって、それをまた動線として、運んだりしてもらうとか、触れ合う機会もつくとか、そういうこともエリア限定的に、スポット的にやれることなのかなと思うのですが、このあたりの考えについて何かご意見があれば、答弁としていただければと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

駅から会場へ向かう間の品川らしさ、江戸っぽさと言いますか、そういうものをどうやって演出していくかという話ですが、ちょうど9月中旬あたりから、東京都や組織委員会がボランティアを募集するのですが、そのあたりに合わせて、品川区でのボランティアというのを考えているところなのですが、そういう方に、浴衣なのか、はっぴなのか、何か品川を盛り上げるためにやっているのだよというような統一した気持ちになれるものはお配りはしたいと思っています。ただ、浴衣ですと、あの暑さの中ですとぐしゃぐしゃになってしまう心配がございますから、どういったものがいいのかは、また考えていきたいと思っています。

あと、かごで運ぶというのは、とても、自分自身も乗りたいと、楽しいと思いましたので、それはしながら観光協会等も含めまして一緒にいろいろアイデアをつくっていききたいと思っております。

### ○南委員

私は八潮に住んでいる者の代表として発言したいと思っているのですけれども、競馬場で観客が降りたときに、多分、窓から、ああ、あそこだなとわかると思うのですけれども、しかし、何も目印がないとわからないですから、目印をまず、ここが会場ですよというアドバルーンか何かわからないけれども、そういうものを設備して、惑うことなく駅から下の歩道に下りたときに、ここに行くということがわかるようにしていただければ、間違えないで行けるし、八潮団地のほうに入らないで行けるのではないかと思いますので、まずそこはしっかりと目印をつけていただきたいと思います。

それと、皆さんからも出ていましたけれども、あそこの歩道がやはり、特に駅の前の歩道が狭いのですよね。だからその辺の整備というのが必要がないかと思っているのですけれども、当然、ミストは行く道すがら全部必要で、会場だけではなくて、駅からミストは必要だと思います。やはりどうしてもコンクリートの多い地域になっていますので、特に橋の上はそれが絶対要件かと思います。その先に行くとも木が結構生い茂っているので、見た目も涼しさを感じるのでもいいのではないかと思いますけれども、そういうところのミストはぜひ抜かさずにやっていただきたい、それから目印も。

それと、先ほども出ていましたけれども、立会川からも当然来る方がいらっしゃるわけですが、何か月前に、あの周辺でご商売をしていらっしゃる方々から出た声なのですが、住んでいらっしゃる方々が、植栽を前の花壇のところで行っているのですが、それが非常に、はっきり言ってしまえば邪魔だと。ぼさぼさしてしまって、見た目も悪いので処分してくれと言われたと。せっかく丹精を込めてつくっているのに、そのように言われてがっかりしたと、そんな趣旨の話を伺ったのですけれども、これからミストを設置するとか、あと、確か電柱の地中化というのはまだこれからですよね。工事的には。そういうものも含めて、あの辺の整備をしていくことは必要なだろうとは思っているのですけれども、周辺の方々のご意見・ご要望もよく聞いて進めていただきたいなど、少し所管が違うのは申し訳ないのですけれども、そのことも改めて申し上げたいと思います。

それから、立会川の駅を出たところは、いわゆる旧東海道なのですが、東海道らしさが全然あの辺はないですよね。したがって、日本でやる、しかも東海道というところにあるので、そういうイメージがきちんと備うような、まちづくりも含めて、あってもいいのかなど。かごなどという話もありましたけれども、かごだけではなくて、そういうまちづくりとしての東海道らしさ、日本の昔の情緒という、そういうことも考えていいのかなど思ったりもしてきました。

それから、あと、もう1つの動線としてどうなのかがわからないので聞くのですけれども、船については競馬場のところに、乗降できるような橋桁と言うのか、あれが置いてあるのですけれども、オリンピックとの関係ではそれはどうなるのかなど、わからないので教えていただきたいと思っています。な

かなか、あれこれいろいろなツールを考えると、それだけ整備も大変だし、混雑もあるしということも1つ気になる場所ですけれども、どうなっているのか教えていただきたいと思います。

それから最後に、ボランティアの方々、道路上にも会場案内の人たちがそういう仕事を含めて多配置されるのだらうと思うのですけれども、そのあたりをどのようなイメージで区としては計画していくのかを知っておきたいと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

幾つかのご意見、質問等いただきました。

まず1点目に、競馬場を降りたときの目印ですね。確かに、私どもはわかっているのですぐに行けるのですけれども、割とがらんとしていてわかりにくいので、その辺の目印等は東京都等と相談しながら、一番わかりやすいものを導入していきたいと思っております。

それから、ミストの話なのですが、先ほど申しあげましたラストマイルという計画の中で、ミストをどのくらい配置するかであるかという話になっております。恐らく、そこは恒久施設、ずっとミストを使うというものではなくて、仮設でつくるような話は聞いております。やはり、会場の近くになれば木が多いのですが、そこまではかなり照り返しも強いですし、ミストは必要かなという認識は持っております。

それと、歩道のほうなのですが、これから、今道路課が工事をしておりまして、遮密性舗装のブロックを使ってやるという話は聞いております。

あと、立会川駅周辺のまちづくりということですが、立会川から行くお客様もいらっしゃいますので、そこは地域の方を話をしながら決めていきたいと思っております。

それから、案内のボランティアはどうかという話ですが、まず、一義的には都市ボランティアと言いまして、道案内ですとか観光案内は東京都が統括しています。どのぐらいの人数が大井競馬場前駅から会場までの間にいるかという情報は、まだ入ってきておりません。恐らくそれを補完するような形で、足りない部分を十分にするために、区の方をお願いすると思っておりますので、一緒にやっっていこうというような形にしたいと思っております。

それから、船運ですね。船のほうは、観客を運ぶためと言いますか、観客が行くためのというような認識は持っておりません。観光の一環として、日本に来られた方が観光としてお使いになるというのは、いろいろところで計画をしていることは聞いております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○鈴木（ひ）委員

先日、視察したときも大変暑い日だったので、本当に暑さ対策というのは皆さんが言われているとおり、何とかしていただきたいという思いがしていました。ホッケー会場も、観客のところは確か屋根がつくという、そういうご説明だったと思うのですけれども、あの屋根も本当に日陰になるまでの屋根になるのかなという、その辺のところの疑問があります。そして、屋根だけで足りるのかというあたりの暑さ対策をぜひしていただきたいということと、今、アジア大会が行われて、これも多分、さまざまな暑さ対策で競技時間もかなり夜にしたりということがされていると思うのですけれども、アジア大会の教訓から生かすということが既にるのであれば、お聞かせいただければと思います。

それともう1つ、先ほど、最寄りの駅が大井町まで考えているということだったのですけれども、そういうことであれば私はなおさら、大井町なども含めてなのでも、視覚障害者の団体の方々か

ら、毎年私たちもご要望をいただいております音響信号ですとか、点字ブロック、誘導ブロック、エスコートゾーンなどの整備というのが、この大井町付近そのものもなかなか進まないという状況があるので、ここのところはぜひ、オリンピックレガシーというところからも、オリンピックがあったことで、もう障害者福祉が一気にインフラのところも含めて進んだよねというような、そういうふうになると思いますので。そういうところでは、大井町のところはもちろんなのですけれども、観光客というところからすると、全区的にそういう点字・誘導・エスコートゾーンというところはぜひ充実させていただきたいと思っておりますし、あと、手話通訳なども、案内というところでは必要になってくるのかなと思うのです。手話通訳も、品川区の場合、通訳者がとても少ないというのが、障害者団体の方々から私達もお聞きしてまして、この辺のところもぜひ力を入れていただきたいと思いますし、また、常々、車椅子で入れるトイレというのも少なく、探すのが大変だということもお聞きしているのです。この機会に一気に公衆トイレや公園トイレを多機能トイレに変えていただきたいと思いますし、また、そういうものができたときに、案内の分かりやすいパンフレットをぜひつくっていただきたいと思います。これはぜひ要望として出させていただきたいと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、競技場の暑さ対策ということですが、やはり太陽というのは動きますので、いつも日陰になっているとは限りません。そのあたりは組織委員会のほうにもいろいろ要望はしていきたいと思っております。

あと、競技時間自体はもう発表になっているのですが、午前中と夜ということで、本当に暑い、私たちが視察に行った時間帯は、競技がない時間にはなっておりますので、若干はいいかなとは思っています。

それと、アジア大会もちょうど同じような場所で行っています。大会が終わってからのいろいろな話が入ってくるかと思っておりますので、参考にはしたいと思っております。

それから、大井町駅が最寄り駅かどうかということなのですけれども、最寄り駅と言いますか、使う方もいるだろうという想定はしているという認識でございます。その中で、バリアフリーであるとか、信号などの問題なのですけれども、ハードだけではなくて、やはり人が案内するであるとか、人に話しかけてという、人間同士のつながりでカバーできるところはカバーしていきたいとは思っております。今、いろいろバリアフリーの問題が区内全域に広がっていて、多機能トイレも含めてということは、今後所管のほうに伝えていきたいと思っております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○のだて委員

ボランティアの話もありましたので、昨年も言ったと思うのですけれども、ボランティアには区民の方も参加されると思っておりますので、意欲的に参加する方がしっかりと情報を得て、参加できるようにしていただきたいと思いますし、参加が強制的な形にならないような感じで、意欲的に積極的にやっていた方が、しっかりとできるようにしていただきたいと思います。これは意見として言っておきます。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

今、ボランティアの件をいただきました。ボランティアはまさにご本人の自発的意思のもとにやるものでございまして、決して強制するものではないというのは認識として持っております。

今、ボランティアをやっている方だけではなくて、やってみたいけれども何か一歩足を踏み出すことができないという方が、かなり区民の方にもいらっしゃると思っておりますので、そういった方にもオリン

ピックを機会にやってみようかと踏み出していただけるとか、声かけをしていきたいと思っております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○大倉委員

同じような意見になってしまうのですが、この間視察に行ったときに駅の方ともお話ししたのですが、電車を降りて、そこからオリンピック会場までの道、駅からの道、その間に気分を盛り上げていくと言うか、先ほど課長からもお話があったように、わくわくをあおっていく。私が野球の試合を見に行ったとき、駅からもいろいろな選手の写真が貼ってあって、それで好きな選手、応援している選手がいて、そのまま会場に、野球場のスタジアムに入って行って、気分が盛り上がったまま応援していくみたいな盛り上げ方をしているところを見たのですが、そういったような取り組みはできないのか伺ったときに、組織委員会のほうからそういう形でやっていいというような、ポスターなどに使っていいというのがあればできるのだが、今、そういった話は全くないので、というようなお話でした。例えばそれができるのであれば、そういうような形で、先ほどもほかの委員からもありましたが、取り組みとしてやったほうが、盛り上がっていくのかと思います。そこに品川区も、今、いろいろなキャラクターもつくってやっているというところで、そういうことがもしできれば、一緒に連携しながら、品川区のアピールもしていければいいのかなと思いました。

あとは周辺施設のところで言うと、大井競馬場とかしながわ水族館とか、区で持っているようなしながわ区民公園、あの辺も一体にアピールできるようにして、これは観光の視点もそうなのですけれども、区民がオリンピックを見に来たときに、改めて、ああ、近くにしながわ水族館があるんだ、あるのは知っていたけれども、あまり行ったことなかったとか、大井競馬場、前に行ったけれどもここ数十年来ていなかったとか、改めて見直してもらえる機会にもなり得るのかなというところで、品川区のそういう施設の再認識を促せるような仕組みというのも考えていただけるといいのかなと思います。その先には、こういうのがあるのだね、しながわ水族館、昔と違ってすごくいいよね、大井競馬場も何かおしゃべりになっているよねというようなことができると、またそういう地域のシビックプライドではないのですけれども、品川区への愛着と言うのか、認識をさらに深めていただけるといいのかなというところがあったので、その辺をうまく、ホームページなのか、逆に言うと、先ほどは観光客の方たちは来て、また次のところへ行く。でも、区民の方はここを見たらそのまま、もしかしたらどこか近くへ寄られて帰るといときに、現地で配ってアピールするというのも方法としてはなくはないかなと思ったので、つけ加えさせていただくと、文化プログラムを例えば周辺施設を絡めて行うというのも、一つやり方としてあるのかなと思ったので、その辺、ぜひ考えていただければと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、駅の装飾等ですね。やはり大井競馬場前駅はシンプルと言いますか、さっぱりしていますので、これから大会に向かってどんなことができるかというのは、組織委員会、東京都と、また駅のほうとも話をしながら、一緒に考えていきたいと思えます。

それから、区民へのアピールと言いますか、その後の回遊性の話なのですけれども、どうしても私どもはインバウンドであったりとか、遠くから来られる方に区の魅力をという視点が今まで強かったのですけれども、委員がおっしゃいますように、区民の方でも全て回っているわけではないですし、また新たな魅力を再確認していただくという意味では、区民の方にまた近くのところを回っていただくという

ような、そういう方策もまた考えてはいきたいと思えます。

それから、文化プログラムに関してなのですが、会場の周辺でということなのですが、公園の中は無理なのですけれども、他のしながわ区民公園など、そこはまだわからないのですけれども、そういったところを活用しながら、一緒に盛り上げていくような方策は考えていきたいと思えます。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

#### ○田中委員

まず、先ほど競技時間が午前・午後でもう決定しているというお話があったのですけれども、すみません。オリンピック・パラリンピックのホームページのところを見たのですけれども、時間帯がわからなかったもので、そこだけまず教えていただけますか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

こちらは、ホームページに、組織委員会のものがリリースで出ているのですが、ホッケーですと7月25日から8月7日の9時30分から一旦は13時15分までと、夜の部が18時30分から22時45分という2つのセッションが基本になっているということでございます。

#### ○田中委員

やはり暑い時間ではあるのかなと思えます。

やはり、この前視察へ行かせていただいて、暑さのことにってはすごく心配だと、観客の方もそうなのですけれども、そこで競技される方も、スタッフの方も、本当に命が大丈夫かなと思うぐらいの暑さだったので、その辺の対策を本当にしっかりと話し合っしてほしいということと、先ほどから、周辺の大井競馬場前であったり、立会川、大井町などのオリンピックに向けたまちづくりみたいな話も少しずつ聞かれているのですけれども、オリンピック・パラリンピックに向けてということも含めて、でもその後のことも、やはり考えていかなければいけないと思うので、地域の方たちの、本当に不便に思っ、感じているところもきちんと聞き取っしてほしいと思えますし、オリンピック・パラリンピックを目指してではなくて、その後のことも考えて、ぜひ地域の方たちの声も聞いてほしいということと、バリアフリーについても、地域に住んでいる障害を持った方たちが一番、自分たちの不便に感じていることがわかるのではないですか。ですので、地域の障害を持った方たちにぜひ声を聞きに行っ、いただきたいと思います。

何か答弁があればいただければと思えます。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、暑さ対策の件でございますが、そこで作業をすと言いますか、従事しているスタッフであるとか、ボランティアに対する暑さ対策ですね。そちらのほうももちろん計画をすしております、競技会場の中では、まだスタッフが休むようなところ、そういったものをつくるようなことは聞いております。また、ボランティアに関しましても、道案内ですっ立っていると具合が悪くなっ、しまいますので、それは適宜休みをとることと、休憩場所をつくるような話は聞いておりますので、そのあたりはいろいろ要望を出しながら、最適な形というのをつくっ、いきたいと思っております。

それから、バリアフリー等のハード整備の話で、オリンピック・パラリンピックの後もということなのですが、それはもちろん、オリンピック・パラリンピックを契機に整備して、その後レガシーとして残して、区民が住みやすい町をつくるという趣旨でございます。それに当たっ、ましては、地域の声をもちろん聞きながら、最適な形をとっ、いきたいと思っております。

### ○田中委員

ありがとうございます。スタッフと道案内、ボランティアと今、分けて発言されていましたが、私はオリンピック・パラリンピック全体、かかわる方全ての人たちに対して暑さ対策など、体調に何か悪影響が起きないように、何かしら配慮していただきたいと思うので、ぜひよろしく願いいたします。

### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

先ほど、2番目の本多委員の質問のときに、今整備をしているホッケー会場の白い防音壁に子供たちが書いた絵が貼られていると、それをもっとPRと言うか、本番中も含めて生かしたほうがいいと思うがどうかということについて、ご答弁がなかったかと思うので、もしご答弁できるようであればいただきたいということと、あと、駐車場について、不便をかける可能性もあるというお話もございましたので、もしその辺も答えができるようなら、左折のみならず右折がどうなのかや、あの辺の動線、道路の状況がどうなるかというのも、もしお答えができるのであればご答弁をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

失礼いたしました。まず工事現場の外壁、私も見て、写真もきれいですし、子供たちの絵もすごくすてきだと思っております。何らかの形であれが残るようにというのは、今すぐにできますというような答えはできないのですけれども、それは組織委員会の工事ですので、また相談しながら、何かうまく使えると言いますか、残せるのかというのは相談をしていきたいと思います。

それから、駐車場を出た後、左折しかできないという、あそこは遮断帯があって少し厳しいと思います。道路自体もあそこは港湾局になるのですかね。こちらの管轄ではないので少し厳しいかなというのが、今感じているところでございます。

### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

一通り、委員の皆様にはご意見・ご要望を頂戴いたしましたが、もしほかに何かありますでしょうか。

### ○鈴木（真）副委員長

やはりほとんど出ているのですけれども、先ほど課長のご答弁で、来た方の区内への回遊というお話があったのですけれども、現実的に今の状況で行くと、近隣が大井競馬場の駅、モノレール、それから立会川、区内の例えば大井町・大崎・荏原に回ってくる方法がないわけですね。直接都心部へ行ってしまうたり、逆に横浜のほうへ行く。そうなったときに、ここをどうつないでいくかをやはり考えてもらいたいと思います。委員会でも要望しているものとして、例えば大井町、大崎へのバスというものもありましたけれども、ぜひこれからも強調してもらいたいと思います。ルートからしたら絶対回遊しないですよ。はっきり言ったほうがいい。横へ人を流すルート、足がないから、どうにかしないと区内の回遊というのは難しいなと思います。

それから、先日行ったときに、大井競馬場前駅の関係なのだけれども、改札を入れてからトイレがありました。あそこは多目的トイレがなかったです。非常に、トイレを見たときに、これは区が言える話ではないのだけれども、確か階段の段差もあったり、そういう点が気になったのですよね。本当にこれから人が、観客が来て、その中で障害のある方のことを考えたときには、やはり何か対応策を今から考えておかないと、モノレールにやるように言うのか何か区として組織委員会と一緒に別の方法を考えておかなければいけないのではないかと思いますので、その辺もしお考えがありましたらお願いしま

す。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

競技を見た後の回遊が難しいのではないかとというのは、私もそのように感じるのはあるのですが、ただやはり、品川の中に非常にいいところもたくさんございます。例えば戸越銀座とか、そういう商店街も幾つか楽しいところがありまして、幾つも回るのではなくても、競技を見た後にタクシー、海外旅行などだと、借上タクシーではないですけれども、幾つかのポイントを回ってくれるようなものもございますし、なかなか、バスを走らせる、競技大会中はバスは需要が多過ぎて供給が間に合わないと言われていたらいなので、厳しいかなと考えている部分はあります。そういう、タクシーでつくるのもありなのかなと考えている部分もあります。

それから、大井競馬場前駅のトイレは、ちょっと古い、年期が入っている感じでしたので、要望するのか、ラストマイルの仮設トイレの中で多目的の部分をつくっていくのかというのは、一旦東京都のほうとも相談しながら要望していきたいと思います。

#### ○鈴木（真）副委員長

ありがとうございます。バスは厳しいというのがありましたが、逆に個人でタクシーを使うのか、区が組織委員会とタイアップした形で、何台かそちらに回すような形をとれるのか、お金の問題も出てくるので、それも検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

ないようでございますので、本当に皆様からいただいた貴重なご意見ありがとうございます。理事者の皆様におかれましては、ただいま出された各委員の意見等も十分に参考にさせていただき、オリンピック競技大会のさらなる機運醸成が図られますよう、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

次に、オリンピック・パラリンピックの推進に関するこのうち、区独自の取り組みについてなどを議題に供し、品川区3競技応援キャラクターの活用について議論をいたします。

現在、区内開催競技であるホッケーとビーチバレーボール、応援競技であるブラインドサッカーについて、品川区3競技応援キャラクターが設定され、啓発物品等で活用されております。

本日も前方、私の後方の机の上に、現在使用されている啓発グッズも用意しておりますので、そちらも参考にしながら、東京2020大会に向けたさらなる機運醸成に向け、区内開催競技を盛り上げる手段の1つとして、さまざまな視点から議論ができればと考えております。

それでは、改めまして理事者より調査事項についてご説明願います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは、私から3競技の応援キャラクターの展開についてご説明いたします。資料をご覧ください。

こちら、目的としましてはキャラクターの親しみやすさや視認性の高さを活用して、区が応援しているホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカー、この3競技のさらなる周知と機運醸成を図ることを目的としております。こちら、区民参画の1つの形として、平成28年度に一般に公募しまして、審査等々を経まして決定したものでございます。こちら、資料にございます3体が応援キャラクターでございます。ホッケーの応援がシナカモン、ビーチバレーボールの応援がビーチウ、ブラインドサッカーの応援がやたまででございます。その下にプロフィールを設定しておりますが、こういったことによってさらに親近感を持っていただくと考えております。

活用方法としては、今、委員長の後方にございます啓発グッズですとか、昨年9月に行われました1000日前フェスタ、そちらで着ぐるみも利用いたしました。また、各種チラシに載せたり、今年度に競技の紹介のプロモーションビデオ、こちらのほうにも出演しております。学校教材の「よい、ドン！しながわ」、こちらも低学年向けには達成したところにシールを貼るよう用意しております。そのほか、他所での利用ということでは、PTAであるとか地域ニュースであるとか、そういったところから使用申請があったときにはご利用いただいております。ここには書いていないのですが、再開発の工事の壁面に屋外広告ということで、今3カ所、8月からそのキャラクターを貼っております。

裏面をご覧ください。こちらが啓発物品として展開した一覧、それから右側に主な用途について書いております。こちらを利用した成果としましては、子供たちへのアピール度が高く、イベント当時は着ぐるみと一緒に写真を撮るといった光景がよく見られています。3月に行われましたブラインドサッカーのワールドグランプリでは、海外選手ともかなり一緒に写真を撮ったりはしておりました。7月のビーチバレーボール大会のときもビーチウがいたのですが、お台場に遊びに来た観光客の人が写真にしておりました。この3体をつくることによって、競技に対する親しみやすさが向上し、競技の認知度が向上したのではないかと思います。

その下、今後の展開でございますが、キーチェーンとぬいぐるみに関しましては、ぬいぐるみに関しては庁内とか出先施設に飾っていたのですが、ぜひ欲しいというようにお声もいただきまして、こちらは9月中旬から販売を予定しております。同じように、引き続き啓発物品に活用するとともに、本当にこのノベルティと言いますか、この配付が、どの程度機運醸成に貢献しているかということはいろいろ検討しながら、どのような商品をどのようときにお配りしたり使うのが適切か、効果が高いかというのを考えながら進めていきたいと思っております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

説明が終わりました。

それでは、ただいまのご説明に関して、ご質疑・ご意見等がございましたら、ご発言を願います。忌憚のないご意見をいただければと思います。

#### ○田中委員

9月中旬からキーチェーンとぬいぐるみを販売予定ということだったのですけれども、どういったところで販売がされるのかということと、金額を教えてくださいと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

今、まだあくまで未定なのですが、販売するところは庁舎のふれあい売店と、あと数カ所を予定しております。金額なのですが、ぬいぐるみが1,800円、キーチェーンのマスコットが600円を予定しております。

#### ○田中委員

ふれあい売店のほかと言うのは、具体的にどの辺なのか。やはり区役所に来ないと買えないのかということを知りたいのですけれども。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

あと2店舗を考えているのですが、まだ販売体制が整っていないので、今のところはしながわ観光協会と総合体育館を考えています。

#### ○田中委員

メモ帳などほかのものというのは、売店のところに並べたりはしないのですか。どの辺で、こういったイベントで配布されるとか。私は小学生の子供がいるので、実感しているのですが、子供たちからすごく人気があるのですよ。この3体のキャラクターが。多分、とても皆さん喜ばれると思うので、どこかで手に入ると言ったら、きっと皆さん行かれるかと思うので、そういった意味で聞きました。ぜひ教えていただければと思います。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

人気があると言っていただいて本当にうれしいです。メモ帳とかクリアフォルダ等は、こちらのイベントですとか、ここにも書いてあるのですけれども、缶バッジは今度の2年前フェスタのときに配る予定ですので、ぜひいらしてください。大体、当課のイベント、それからスポーツ大会ですとか、そういったところで配布はしております。

#### ○伊藤委員

先ほどのことについてに聞きますけれども、今、品川区のホームページを見ていたのですけれども、2年前フェスタがこれからあるということで、例えばのアイデアですけれども、オリンピックに特化した特設のホームページをつくってみてはどうでしょうかという提案です。その中で、このシナカモンとビーチュウとやたたまを動画で配信をして、それぞれの競技を紹介していくとか、それから、会場までのアクセスについては問題なく上げていけると思うので、それをPRするとか、それから区内で行うさまざまなイベントの告知をして、そこで鼓舞していけないか。やはり、ホームページが一番身近だと思うのです。情報を得るには。文章を読むことも、わざわざどこかに行く必要もないし、スマートフォンやパソコンや携帯電話で見られるわけだから。そこの入り口のところに、予算の関係もあるのでなかなか簡単に言えないことではあるだろうけれども、やはり特設のホームページをつくって、期間中、終わるまで対応するべきだと思うし、その中でこの3つのキャラクターを活かす方法を検討してはいかがでしょうかという提案です。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

特設サイトでございますが、実はもうできておまして、前回のときにご案内させていただいたのですが、その中で3キャラクターのアニメといったようなものはなかなか金額の関係で難しいとは思いますが、まだできたばかりでサイトの内容も充実しておりませんので、いつも見たら新しいホットな情報が載っているであるとか、そういったようなサイトづくりはしていきたいと思っております。

#### ○伊藤委員

できているということについては、大変失礼しました。

私のイメージは、それが独立してもいいかなと思っているのですよ。品川区から飛ぶということではなくて、例えば、組織委員会のホームページからリンクをしてもらって、直接そこにダイレクトに行ける仕組みをつくったほうが、もっと認知度が上がるような気がするのです。ですから、品川区のホームページから飛ぶのももちろんいい。だけれども、3競技を本当にPRしていくことを考えたら、もっと飛躍的に考えてもいいのではないかとということで提案させていただいておりますので、いかがでしょうか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

リンクの関係でございますが、今、品川区のホームページから飛ぶことはできまして、特設サイトから組織委員会にはリンクを張っていますが、相互リンクには確かなっていません。委員ご指摘のように、組織委員会からも飛べるようにしたり、3競技の団体や、ほかのところからも飛べるようにリンク

を張っていただいたりであるとか、あとは今後、フェイスブックやインスタグラムも担当をつくる予定ですので、そういったところからまた飛べるように考えていきたいと思っております。

#### ○いながわ委員長

ほかにありますでしょうか。

#### ○石田（秀）委員

販売予定のぬいぐるみなどの話なのですが、これは今、販売予定の場所が3カ所というのはよかったですけれども、2つお聞きしたいと思います。

オリンピックが開会して、終わるまで、ずっとこれは期間的に売らつもりでいるのかというのが1つ。それから、そうなってくると、各イベントがありますよね。各地域でもあるし、例えば、祭礼などがあるではないですか。今度は宿場まつりもあります。大井どんたくはもう終わってしまったけれども。そういうものに全て出そうと思っているのか。そういうところでも売ろうとするのか。

それからもう1点は、インターネットなどで売ってはいけないのですか。私はインターネットで売ってもいいような気がするのだけれども、なぜそういうことを考えていないのかというのも教えてください。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

いつまでというのがまず1点目のご質問なのですが、終了までは売りたいと思っています。イベント・祭礼等での出店ということに関しましては、どのくらいの反応があるかということも、素人なものではなかなか見えないところで、そこまでは検討しておりませんでした。人気があるというご意見もいただきましたので、どういうところで手に入りやすく、気軽に買えて、機運醸成につながっていくのかというのは、もう少し研究させていただきたいと思っております。

#### ○いながわ委員長

インターネット販売に関して。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

インターネット販売に関してはいいなと思うのですが、ほかのものも何かある中でそれを追加するというのであれば気軽にできるのですが、区のもので今インターネットで販売をしているものがないので、なかなか、システム構築をするのにどのくらいかかるかというのが今想像がつかないので、これも合わせて研究させていただきます。

#### ○石田（秀）委員

私の考えが間違っていたら申し訳ありませんが、手数料を払えば、明日からでもすぐ載せられるサイトがあるような気がするのですが。それを区でやっていいのかわからないけれども、区で真面目にいろいろ構築してどうのこうのと言うのではなくても、手数料をとられてもいいと思えば、そういうところは幾つもあるって、そういうところに任せればいいのではないのかなと思うのだけれども。そのようにはならないのですか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

インターネット販売、ちまたで今非常に有効に、たくさんのサイトがあつて、多くの方が利用していると思います。なかなかその分野では行政はおくれておりますので、本当に研究をさせていただいて、できるのかどうかも含めて考えてまいります。

#### ○あくつ委員

今に関連して、建設委員会で水辺千本桜計画への寄附を目的にふるさと納税をした方には、アクリ

ルキューブに桜の木を閉じ込めたものを配るというのがありましたけれども、例えばこういうセットを、期間限定でふるさと納税の返礼品の中に添えるとか。先ほどインターネットという話が出たので、それであれば本当に写真を撮って載せるだけで、多分できるのではないかなというのがあるのですけれども、そういうものをしていいのかどうかというのもわからないのですが、それはいかがでしょうか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

千本桜のふるさと納税の件ですが、ああいった、すごく目的がはっきりしているものというのは寄附が集まりやすく、寄附する方は、少しの返礼をもらって、ワクワク感を手に入れるという形だと思います。税務課のほうでふるさと納税をやっておりますので、その商品に加えられるかどうかというのは、またそれは税務課とも相談しながら、それが適切なのかも含めまして研究していきたいと思いません。

#### ○あくつ委員

ありがとうございます。適切かどうかも含めるとあったのですけれども、品川区文化スポーツ振興基金でしたか、そういう基金を積んでいますよね。そういうものに、例えばスポーツ振興のためという目的を定めたふるさと納税という考え方もありましょし、一般のふるさと納税として、その中の返礼品のメニューに加えるということもあると思いますので、ぜひ検討していただければと思います。

#### ○いながわ委員長

ほかに。

#### ○つる委員

このキャラクターが人気だよという話も、各委員の質疑の中でありました。今、ちょうどあくつ委員からも、千本桜のクラウドファンディングをやっている、ふるさと納税とか、ノベルティーというようにお話で、先ほど石田秀男委員のときもありましたが、もう1回確認です。2020年のオリンピック・パラリンピックを1つの区切りとして、それで売り切るといふ販売数と言うか、用意をしているイメージでいいのか教えてください。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

委員おっしゃるとおりに、2020年のオリンピック・パラリンピックまでと考えているところでございます。

#### ○つる委員

逆に、オリンピック・パラリンピックと銘打ってないのをうまく利用して、応援キャラクターという位置づけでやっていることからすれば、そこに縛られる必要は、逆に言うとないかないかなという感覚はあるのと、区民の方で、基本的には世代の若い、お子さんなどがほぼ中心になっていくのかと思うのですが、先ほどインターネット販売という提案もありましたけれども、今後、品川区のイメージと言うか、世代向けのイメージのキャラクターがいい意味で一人歩きしてくれるような、そういう意味合いでも、2020年に区切られるところは、課がそこで閉じてしまうかどうかは当然別ですが、部の中にあるほかの文化観光課との連携等というところで、それを引き継いで、区としてのキャラクター販売とか、そういうのも、その先のそれこそレガシーではないですが、そういう形で活用していくという手はあるのだらうと思うのですね。

そこに含めて、今回、資料でいただいている、全体の製作費というのは、配付しているものもあるのですが、幾らになっているのか教えてください。要は、税金を使ってつくっているということだと思うのですが、それを教えてください。

### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、いつまで販売するのかというお話なのですが、そこまで人気があったとは私は逆に思っていなかったもので、うれしい悲鳴なのですけれども、売れ行きを見ながら考えさせていただきたいと思います。永遠に残るのであればうれしいと思っております。

それともう1つ、全体の経費と言うのは、ぬいぐるみだけではなくて、啓発物品のところ、今年度予算では全体で、今きちんとした金額を持っていませんが、2,500万円あるというところでございます。

### ○つる委員

2,500万円。配布するものもあるので、どのように歳出の処理をするのかわかりませんが、歳入という部分もあるのです。項目はわかりませんが事業外収入とか。ぬいぐるみだったら1個1,800円、マニアの方が3つ全部そろえたいとかになると、ぬいぐるみだけで金額が5,400円になるわけですね。その収入というのは幾らぐらいと見込んでいますか。

### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

すみません。今、確実な数で持っていないのですが、ぬいぐるみ1体当たり、確か200体程度の販売を見込んでいました。それで、キーチェーンのほうは確か400個で見込んでいましたので、その程度の歳入だと思っています。

### ○つる委員

あまり細かくやってもあれだと思のですが、やはり非常に区として、別に利益団体ではないからなかなか難しいところもあると思のですが、ただ、せっかくやるからには、そういう区民サービスだけではなくて、やはりキャラクターを使って品川区の周知であるとか、スポーツの周知というところだと思うので、そこでしっかりと一定程度の事業外収入ではないですけども、そういった観点も視野に入れながら。あとはキャラクターの認知度とか周知度とか、そこで生み出される新たな価値と言うか、区にとっての価値ですね。そうしたこともきちんと見込んでやられているのだろうと思っていれば、何となくというイメージだったので、やはりそうした、民間の方の知恵を少しでも借りるとか、庁内でそういうところに長けた部署と連携してやるなどという工夫も必要なのかなと。せっかくやるのだから、やみくもに売って、ああ、これだけの収益だったというのではなく、2,500万円を投入してやっているの、それに対する見返りという部分、区が商売しているわけではないのであまりそこまで細かく詰め詰めにやってもいけないと思のですが、ただ、せっかくやるからには、何らかの、それで得た収入を基に、次の展開でいろいろなものに活用できるというぐらいの力を入れていったほうが、こういうキャラクター販売にしてもいいのではないのかなと、私は思うのです。ですので、オリンピック・パラリンピック準備課としては、2020年という区切りがあるかもしれないけれども、これだけではない品川区の今後、さまざまなキャラクターづくり等、展開されると思っているので、そうしたことも、例えば既存のテレホンカードとか、手ぬぐいとか、風呂敷等がありますよね。そうしたものも含めて、せっくなので、そこまで検討されたほうがいいのかではないでしょうか。それこそTシャツ、マグカップ、グラス、コースター、バスタオル、サングラスにしたって何だってできるわけですね。そのぐらいの商魂を持ってやってもいいのではないかと思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。

### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

ぬいぐるみ等の値段設定に関しましては、いろいろ議論があった中で、やはり付加価値をつけて、ブランディングと言うのではないですが、その1つとして考えたほうがいいのかという意見と、

より多くの方、欲しいと思っている方に、原価ぎりぎりでお分けしようという意見、2つの意見がありまして、今回は原価ぎりぎりの方でございます。手数料も入れると、どちらかと言うと持ち出しもあるかもしれません。

2,500万円の効果ということなのですが、経済効果というのはなかなか、区に歳入として入ってくるのではない見えないところでまた展開するものもあると思いますので、このぬいぐるみの販売に関しては、多くの方に楽しんでいただく、手にとっていただくと言うことを目的にやっておりますので、今回はこれでいきたいと思います。ただ、その先の2020年以後に関して、これがレガシーにひよっとしたらなるかもしれないと思うところもございますので、それは販売等や、部全体としてどうするのかというのは研究していきたいと思います。

#### ○つる委員

行政がやる、アピールするもので、例えば地域のものづくりとか産業とか、あとはコラボですよ。例えば江戸切子とか、おせんべい等のお菓子とか、いろいろあると思うのです。どこに行ったって、どこそこに行ってきました、例えば品川区に行ってきましたというおまんじゅうとかおせんべいとか、幾らでもあるわけです。そうした地域でやっているものとコラボする商品というのは幾らでもつくれると思うのです。そうすれば、今ちらっとおっしゃった経済効果などということも出るわけです。このキャラクターが引っ張る部分と、もともと持っている品川区のそういう魅力ある商品とコラボをさせることは、お互いの相乗効果が出るわけですよ。そうしたことにも活用していくという知恵を生かしていくことも必要ではないかと思うので、ぜひ課を越えていろいろ検討していただければと思います。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

ほかにありますでしょうか。

#### ○田中委員

今、1,800円のぬいぐるみが1体当たり200体販売という話でしたが、キーチェーンのほうの数はどのくらいずつなのをお聞きしたいのですけれども。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

キーチェーンのほうは400個です。

#### ○石田（秀）委員

すごく細かいことなのですが、パラリンピックが終わるまでこれを販売するというのですが、やたたまは開催会場で売れるようにはできるのですよね。会場が品川区ではないので、それまでは応援でいいのだろうけれども。もちろん売れるような体制はとれているのだけれども、そういうのはどうなるのかなと思うのと、あと、これは機運醸成なのであれですけれども、応援キャラクターで、応援グッズというのはつくらないのですか。今思ったのですが。開催中の応援グッズがあるのかなのかよくわからないのだけれども、例えば、バレーボール等で、皆と一緒に拍手する、音がするようなものであるとか、野球などであればタオルをつくって、皆と一緒に振ったりしているのではないですか。ユニフォームというのものもあるけれども。そういう応援グッズというものを販売したりするのは、区としてはできないのかどうかというのもあると思うので、その辺はどのように考えたらいいのでしょうか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、開催会場での販売なのですが、いろいろライセンスの関係があって厳しいかなと思います。応援グッズなのですが、これは検討して楽しいものをつくっていきます。

## ○いながわ委員長

ほかにありますでしょうか。

## ○大倉委員

今のお話を聞いていて、ビーチバレーボール会場でもありましたけれども、よく野球場などタオルを振り回したり、好きな選手が出て来て応援すると、そういうところが、モニターに写されて、写った人たちが喜び、来てよかったというように、いい思い出をつくっていくというのが応援グッズをつくっていく中で循環していくのかなというのを、今、非常に聞いていて思ったので、ぜひやっていただけるといいなと思いました。あと、例えばこういう応援キャラクターを、機運醸成で使っていくときに、ホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカー会場に来るのは多分当然だと思うのです。でも、そういう会場にいる方たちは応援キャラクターを知っていると思うのです。知らない人たちに知ってもらうには、逆に一番遠い位置にあるようなイベントに出ていくというのが非常に必要なかなと思っているので、その辺のイベントへの出演の考え方について教えてください。全く違うイベントでもいいと思うのです。そういうところへ行ったら、あれは何だろうとなったときに紹介すると、今まで知らなかった人、新しい人たちにつながるというところで、ぜひやっていただきたいなというのと、この個々のキャラクターにファンをいかにつくっていくかというのが大事だと思っていて、ホッケーが好きでシナカモンが好きになったでもいいですし、かわいいからシナカモンが好き等、狙いとしてはシナカモンからホッケーを知ってつながっていくというのがあるのかなと思うので、そういうファンをどうやってつくっていくかという考え方も1つ視点としてあるのかと思うので、その辺の考え方を教えてください。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

イベントの出演、着ぐるみの話だと思います。基本は当課が行っているイベントに出ているというところですが、それ以外にも出演要請があったときには、区民まつり等にも出ていく予定です。今、委員がおっしゃいましたような全く関係のないようなイベントには今のところ出ていないのですが、そういうのも楽しいと思いますので、どんなイベントにどのくらい出るか、依頼等も勘案しながら考えていきたいと思っています。

ファンづくり、かわいいというご意見もいただいてありがたいなと思っているところなのですが、それをどうやって広めていくのかというところで、先ほど少し申し上げましたインスタグラムでの発信であるとか、ハッシュタグをつけてほかの人にも拡散していくこともできますので、そういったいろいろなものを使いながら広めていきたいと思っています。

## ○大倉委員

出演依頼があればということだったのですが、いろいろ見ながら、こういうところに出たら、今までアプローチできていないところにいけるのではないかとということも、こちらから積極的にやっていく必要もあるのかと思います。極端に言うと、周知、認知を上げるのだったら、例えば朝、よく政治家の皆さんがやっている街頭演説ではないですけども、ああいうところに立てば、それなりの人、しかもこの品川区内の人の方が来るわけですよ。そこでノベルティとか、例えばティッシュでもいいですけども、配布するとか、そういうような、本当に真剣に広めていく、2020年までやるのだというところがあれば、もう少し広がりということになるのかなと。大変だと思うのですが、やれるところだけを見てやるのではなくて、違う発想のところへ考えを飛ばし、伸ばしながらやっていただけないのかなと思いましたので、ぜひ盛り上げていきましょう。

## ○鈴木（真）副委員長

このキャラクターのシール、先ほど工事現場に3カ所貼っていらっしゃるということでしたが、これはもっと逆に区の庁舎、例えば本庁舎もそうですし、地域センターとか、そういうところに貼る、金額がどのくらいかかるのかわからないですけれども、そのほうが効果があるのではないかと思います。地域センターの前を通る人が、何だろうと、やはり意識のない人が何かこういう柄を見れば、その辺も機運醸成になるのではないかと思います。どうお考えでしょうか。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

地域センターの壁の件です。どのぐらいの大きさで貼るかということもあると思うのですが、これから来年度に向かっては検討の余地があるかとは思いますが。

今年度、貼りましたのは、工事の壁が白くてとても貼りやすいと言いますか、ほかのものを貼っているのもあるので、ここから行こうということで、まずひとまず始めています。その反応も見ながら、またいろいろなところで、目にすることが周知に一番だと思いますので、広げていきたいと思えます。

#### ○鈴木（真）副委員長

工事現場のを見て結構目立っていたので、せっかくあるのであればもう少しできればなと思えました。今後検討してください。

#### ○いながわ委員長

ほかに。

#### ○のだて委員

先ほど、区が利益団体ではないというお話もありました。この販売についてはそういったところで注意は必要なかなと思っているのですけれども、ぬいぐるみやキーチェーンをつくる目的と、あとはほかのメモ帳などはイベント配布になっているのですけれども、今回、販売予定というところで、どういった経緯だったのか伺いたいと思えます。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

キャラクター設定の目的自体は資料に書いてあるとおりののですが、このぬいぐるみとキーチェーンのものに関しては、当初は庁舎とか出先に飾って、そこから機運醸成をしていこうというようなことで作成したものでございます。特にこれを一般に配布するであるとか、そういったことは考えてはなかったところでございます。つくったものを目にした方から、かわいいから欲しいというご意見を幾つかいただいた中で、販売しようということになったということでございます。

#### ○つる委員

先ほど提案しようと思っていたのですが、拡散性というところで、品川区はまだやっていないと思うのですが、いろいろな自治体で、LINEスタンプなどをつくってやっているところもありますよね。ですので、3つのキャラクターに品川区のコメントを入れるとか、今、例えば子育てなどもアプリを使ってやりとりをしているわけですよね。その中に、例えば子育て中のお母さんがほっとできるような、そういうキャラクターのものを子供たちが見れば、一石二鳥ではないけれども、そういうことにも活用できると思います。そういったところは子育て支援の課などとアイデアを共有しながら、実際に販売している自治体もあるわけなのです。そういったところでも、税外収入にも当然なるし、そういうキャラクターの認知にもなる、親支援にもつながるし、子どもたちの交流にもつながる等、いろいろな幅広い展開ができると思います。先ほど言ったように、いかにキャラクター効果を最大限引き出していくかということも大事なので、LINEスタンプなどが検討できるかどうか、そもそものところをまず1つ教えてください。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

LINEスタンプについてのご質問でございます。ほかの自治体でもやっているところもございますし、私の見たところだと、東京都内ではないですけれども、オリンピック関係でもやっている、LINEスタンプをつくっているところが確かあったと思います。有効な1つではあると思いますが、今すぐできるかどうかは、私の一存ではお答えしかねるところですので、ほかの、委員がおっしゃったような子育て支援の課等と相談しながら研究していければと思います。

## ○いながわ委員長

ありがとうございます。

視察の時間もだんだん近づいてまいりましたので、特にご発言をされる方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

いらっしゃらないようですので、以上で特定事件調査を終了します。

---

## 2 報告事項

しながわ文化プログラムのロゴマークの変更について

## ○いながわ委員長

次に、予定表の2、報告事項を聴取いたします。しながわ文化プログラムのロゴマークの変更についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは、私から、しながわ文化プログラムのロゴマークの変更についてご説明いたします。資料をご覧ください。

しながわ文化プログラムなのですが、東京2020大会を契機として、区にある伝統文化、その魅力発信や新たな文化の発掘などを目的に、昨年平成29年6月より実施しているところでございます。今年度に入りまして、文化観光課ともさらに強力でタッグを組みまして、もっと広めていこうと活動しております。この夏で東京2020大会まであと2年ということになりまして、さらに盛り上げをしようということで、文化面からの一体感を生み出すために、現在のロゴマークから、ロゴマークを新たなものに変更することといたしました。

文化プログラムの概要に関しては、今までと特に変更はございません。

資料の3のロゴマークのところですが、現行のものから右側のものに変更します。今まで、シティプロモーションと混同されやすいというようなご意見もいただいていたところですので、今回は色とりどりの波の集まりが、品川区にあるさまざまな文化を表現し、東京2020大会に向けた品川区からの文化の盛り上げをイメージしたものとしました。

こちらをチラシ等に活用してもらうとともに、ピンバッジか缶バッジ等を作成して事業を実施するスタッフに配布をする予定でございます。

## ○いながわ委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

## ○大倉委員

1点、このバッジを配布してつける方がいますよね。つけた方が、それは何ですかと聞かれたときに、

説明をできるようにしなければいけないと思います。資料のマーク説明のところ、このマーク自体の説明がありますけれども、品川区の文化プログラムって何ですかとか、そういった簡単な説明が一緒についていないと、広がっていかない。いや、これは何か品川の文化プログラムなのですよね、で終わってしまう。何ですかという質問の先に行かないので、きちんと、つけた人がわかって、気になった人にも伝えられるようにしておかないといけないと思います。その辺の取り組みをしたほうがいいのかなど思うので、やっているのかの確認です。やっていただきたいと思っているので。

それと、このロゴマークなのですけれども、どなたが、どこでつくったのかというのを教えていただきたいのと、その費用。あと、この下にしながわ文化プログラムというのが今後入ってくるのかと思うと、マークの中にShinagawa Culture Programと書いてありますけれども、あえて2個要る、2個ある必要性、バッジにしたときにこの下のしながわ文化プログラムの表示がないほうがバッジとしてはきれいだけれども、ロゴとしてはこれがあるというところがどうなっていくのか教えてください。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず1点目の、スタッフが説明できるようにということなのですが、現在は、申請をいただいたときに、オリンピックというのは文化の祭典でもあります。これをつけてくださいねというように説明してバッジをお渡ししていたので、それは何か小さなメモなどを渡して、スタッフの方も説明できるような形にはしていきたいと思います。

それから、このマークはどこでつくったかということなのですが、これはデザイン会社と言いますか、制作会社に何案か出してもらいまして、チラシの印刷費用も含めまして25万8,000円でございました。

それから、なぜ日本語を入れたかということなのですが、英語だけだとわかりにくいという方もいらっしゃるかもしれませんので、日本語も入れようということで、資料のようにいたしました。

#### ○大倉委員

わかりました。スタッフの方ということだったのですが、一般の方はなかなかつけられないということなのでしょうか。わからなかったのも、その辺を教えていただきたいのと、これを何の目的でつくっているのかということとで言うと、周知をもっとしていくというイメージを持っていたので、つけたいかどうかという視点で見ると、日本語がないほうが格好よかったり、おしゃれだったりというのがキーワードになってくるのかと思うので、その辺の考え方。バッジにしたときにシンプルで、色合いもいいですし、日本風な柄であったりしているので、どうなのか。私の感覚で、この下のしながわ文化プログラムの文字がないほうがシンプル、スマートな可能性もあるのかと思ったので、その辺のお考えを一つお願いします。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

こちらのピンバッジ等の配布は、今のところスタッフのみと考えております。

何を目的にというのは、やはりオリンピックと言うとスポーツだけと思っている方も一般の方では多いと思うので、文化、品川区全部まとめてオリンピックに向かって行くのだという、裾野を広げる意味もございまして、こちらを統一のマークとして、文化的な事業のことに關しては、まずチラシに入れると。そこで目で見てもらって、スタッフの人がつけていたら、ああ、これもオリンピックを盛り上げる一環なのだと思わせていただく、そういうことを目的にやっております。

日本語を入れた、バランスの問題のご指摘いただいたのですが、こちらはやはり日本語が入っていたほうが万人にわかりやすいだろうということで明示させていただきました。

## ○大倉委員

これは、裾野を広げるという意味と、文化プログラムがあるという意味で広げていくのであれば、区民の方にも配れるような、先ほどのオリンピック周知も含めたところですが、配れるようにしていただいたほうが広がるのではないかとということと、その際の、品川区の文化プログラムはこういうものです、こんなことをやっていますという説明も一緒につけてお渡しできるようにすると、なおいいのかと思ったので、ぜひご検討いただきたい。あとは、先ほどからあるような、工事現場などヘシールを貼る、これを張って広めていくということもぜひ検討していただければと思いますので、よろしく願います。

## ○いながわ委員長

ほかにご発言はございますでしょうか。

ご発言がないようですので、以上で本件および報告事項を終了します。

---

## 3 その他

### ○いながわ委員長

次に、予定表の3、その他を議題に供します。

その他で何かございますでしょうか。

### ○立川文化観光課長

それでは、お手元にお配りいたしました資料をご覧ください。品川区民芸術祭2018の開催について説明させていただきます。

本件は、8月27日の区民委員会でご報告したものでございますが、本事業がしながわ文化プログラムの認証を受けておりますので、改めてご案内させていただきます。

まず、目的でございますが、区民による日ごろの文化芸術活動を地域の賑わいにつなげ、区民の誰もが気軽に参加・鑑賞できるイベントとして、また、質の高い「文化芸術」に触れ親しむ機会として開催するものでございます。期間は平成30年9月9日から11月25日まで、主催は品川区および公益財団法人品川文化振興事業団、実施主体は品川区民芸術祭実行委員会でございます。

次に、事業の概要でございますが、(1)コンサートとしまして、2事業があります。「Dream Stage 輝け!しながわジェンヌ」と題しまして、宝塚歌劇団OGと公募区民約30名が繰り広げる夢のステージと、「ティーンズコンサート」で区内の小・中学生、高校生、大学生、社会人による吹奏楽・合唱等の発表、合同演奏などを行うものでございます。

次に、(2)美術展でございますが、品川アーティスト展2018から障害者作品展まで、6事業を開催いたします。

次に、(3)団体・サークル活動の発表として、芸能 花舞台から子どもフェスティバルまで、アマチュアステージ6部門を開催いたします。

次に、芸術祭期間中に実施される関連事業としまして、①区主催、②各団体と区の共催、③品川文化振興事業団の主催があり、それぞれご覧のとおりでございます。

(5)協賛事業は民間の文化芸術団体が主催する事業で、芸術祭開催期間中を中心として実施され、芸術祭にふさわしく、広く区民が参加または鑑賞できる事業を協賛事業としたものでございます。

予算および広報については、ご覧のとおりでございます。

### ○いながわ委員長

本件につきまして、何かご質疑等ございますでしょうか。

ないようですので、本来であれば、このままその他の報告を続けていただくところでもございましたけれども、3時から視察が入ってございますので、先に予定表4の視察行い、戻ってきてからその他の報告を受けようと思いますのでよろしく願いいたします。

---

#### 4 視察

##### ○いながわ委員長

それでは予定表4の視察を議題に供します。

本日は、特定事件調査に関して、8月11日にオープンしましたスボル品川大井町の視察にまいります。

スボル品川大井町は、皆様ご存じのとおり、大井町駅からすぐの立地で約2万4,000平米の広大なスペースに、東京2020オリンピックから新たな正式種目となるサーフィンをはじめ、8種類のスポーツを含む13の施設が配置されております。

現地でご担当者の方にお話を伺いながら、区内のスポーツ環境の整備等の視点で視察ができればと考えております。

それでは、視察に参りたいと思います。ただちに放送にてご案内をいたしますので、委員および視察に同行される理事者は、第三庁舎2階お集まりください。徒歩で現地に向かいます。

会議の運営上、暫時休憩いたします。

○午後2時50分休憩

〔視察場所：スボル品川大井町〕

○午後3時45分再開

---

#### 3 その他

##### ○いながわ委員長

ただいまより、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会を再開いたします。

視察、大変お疲れさまでございました。お暑い中ありがとうございました。

先ほど、予定表の3、その他を議題に供し、途中で終わっておりましたので、改めて、その他を議題に供します。

そのほかにその他で何かございますでしょうか。

##### ○池田スポーツ推進課長

私からは、障害者スポーツチャレンジデーの開催についてご報告させていただきます。こちらは8月27日に開かれました区民委員会でも報告をさせていただいているところでございます。

まず、目的でございます。こちらの目的は、障害のある人もない人も一緒に楽しむことができるスポーツイベントを通して、障害のある人とない人との交流の場の創出、障害者スポーツの普及を図るために行うものでございまして、今回はふくしまつり2018と同時に開催することにより、障害者スポーツに対する関心をより高めるということを目的としてございます。

日にちでございますけれども、9月8日土曜日午前10時から午後3時までということで開催いたします。会場につきましてははしながわ中央公園の多目的広場を使って行うところでございます。

内容につきましては、車いすのテニスアスリートのエキシビジョンマッチを観戦するほか、車いすテ

ニス、車いすバスケットボール、ボッチャ、ゴールボールなど、こちらに書かれているものをいろいろ体験できるようなものでございますので、ぜひ、こちらのほうに参加いただければと思います。

予算額の675万4,000円ですけれども、こちらの主なものは委託に対する費用でございます。

周知につきましては、既に8月21日号の広報しながわと区ホームページ等で周知しているところがございます。委員の皆様につきましては、ぜひ、お時間がありましたら来ていただければということで、紹介させていただきます。また、10時から開会式がございますので、そちらのほうも出席していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

本件について何かご質疑等ございますか。

#### ○あくつ委員

今回はふくしまつりと一緒に開催ということで、昨年ふくりまつりが、中小企業センターが今使えないということで、しながわ中央公園でやるということでしたけれども、去年は、これはスポーツイベントのほうではなくてふくしまつりのほうだったのですが、非常に暑くて、ステージを見ていると本当に具合が悪くなりそうな、また出演者の方も大変つらい場面があったのですが、委員会等でもそれは質問させていただきました。今会場図を見ると、日除けつき観覧席というものがグラウンドの中央にあるようなのですが、これは要するにここにいれば、いろいろな競技をここで見られて、休めるということなのでしょうか。

#### ○池田スポーツ推進課長

委員のご指摘のとおり、こちらは休憩する場所でございます、バザー等をやった場合、もしくはスポーツ・競技で楽しんだ後、こちらのほうでひと時休んでいただくというものでございます。

#### ○いながわ委員長

ほかに何か、この件に関してございますか。

#### ○石田（秀）委員

予算額の話をお聞きしたいのですが、委託料は委託料で結構なのですが、よくブラインドサッカーもこうやっておつき合いをさせていただくと、協会自体が結構いろいろな形でこういうイベント、また、あそこのブラインドサッカーの場合は、ブラインドサッカー自体でいろいろな違う講習のようなものもやられて、収入を得て、選手なり何なり養成、それから派遣費、そういうものもしっかり出してあげながら競技を続けられる環境をつくらうとしています。特に障害者団体のスポーツはお金がなくてどこの団体も困っているではないですか。そういうのを支援できるような、ここで言うバスケットボールから、ボッチャ、車いすテニスでもいいのだけれども、こういう団体が、ここへ来ている方々だけなのか、団体も少しそういうことでいろいろ委託費が入って、そういう支援ができる体制を、こういう1つ1つのイベントでいろいろなところで支援できる体制がある程度できているのかというのを伺いたい。なぜこのようなことを聞くかと言うと、来てもらってその方々に払うのはいいのだけれども、ただそれだけだと、競技が伸びていかないではないですか。いろいろ。そういう意味合いで、行政側も支援できる体制が、そういう話し合いの中でいろいろ、お互い一緒になってやれているのかなということだけ教えてください。

#### ○池田スポーツ推進課長

今回のイベントでございますけれども、まず、委託することにつきましては、障害者スポーツの普及

ということでの業者のプロポーザルで実施しているものでございましたので、実際に車いすテニス協会とか、車いすバスケットボール連盟とかに、幾ら直接ご契約をして負担がいつているかということとは定かではないのですけれども、協力としまして、テニスの指導にはテニス協会、バスケットはバスケットボール連盟というような形で、各障害者スポーツの団体が指導していただけるということになっております。

ただ、1つ、5人制サッカーにつきましては、ちょうどブラインドサッカー協会の方が合宿中なものですので、それに類する形で、一般社団の障害者サッカーの普及団体の方が主になる形になっているところでございます。

#### ○いながわ委員長

本件について、ほかに何かございますでしょうか。

#### ○鈴木（真）副委員長

細かいことかもしれないのですけれども、この開催についての案内、パンフレットともに、やたたまか何かをつけるとか、まずブラインドサッカーと出ていないのがなぜかというのが気になっています。パンフレットのほうにも、先ほどあれだけ話の中で出たのでせつかくならやたたまをどこかに入れておいてもらいたかったという感覚がありますけれども、その辺、なぜ連携していないのかなど、その辺がどうなっているのか伺います。

#### ○池田スポーツ推進課長

ご指摘のとおりでございます。私のほうで、失念しておりまして、大変申しわけありません。実はブラインドサッカーと、ふくしまつりのほうではホッケーもやりますので、3種のキャラクターも一緒に出さなければいけないところが漏れてしまいました。次回以降、気をつけるようにいたします。

#### ○いながわ委員長

本件についてほかに何かありますか。

#### ○南委員

先だって文教委員会の中で、教育委員会が行ったアンケートがあったのですが、子どもたちの意識として、オリンピックよりパラリンピックのほう若干興味は低くなっているという状況が出ていまして、それは品川の子どもたちに限らない全般的な状況だと思っているのですけれども、やはりこういう機会を通じて、具体的に挑戦されている皆さんの姿を見て、意識と言うか認識を変えていけばいいのではないかと少し思ったのですけれども、そういういいチャンスなので、このイベントについて教育委員会等々の案内などもされているとは思っているのですけれども、その辺と、意識向上についてどのように捉えているかを教えてください。

#### ○池田スポーツ推進課長

こちらのチラシにつきましては、各学校、そして児童センター等に配布させていただくということでやらせてもらっています。あと、こちらの周知につきましては、今回、東急電鉄のご協力がございまして、大井町のデジタルサイネージも利用させていただいて、周知をしているところでございます。実際にこちらは、私ども、障害者スポーツを知っていただき、そして体験していただく、障害をお持ちの方がもし参加した場合には、それを運動するきっかけにしてほしい。また小さなお子様も、簡単なスポーツを大変多く用意しておりますので、こういったことでスポーツ、体を動かすことを習慣づける、好きになってほしいということをお願いしまして、障害者スポーツチャレンジデーを開催させていただくということでございますので、多くの方が参加することを願っているところでございます。

## ○いながわ委員長

本件に関しまして、ほかに何かございますでしょうか。

ないようですので、ほかにその他で何かございますでしょうか。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは、私から、お手元にお配りしています『ブラインドサッカーマガジン』についてご案内させていただきます。

こちらの冊子は、日本ブラインドサッカー協会が出している冊子でございます。こちら、今年3月に行われましたワールドグランプリのことが特集になっておりまして、品川区のことも掲載されておりますので、ご一読いただければと思います。

## ○いながわ委員長

本件について、何かございましたら、ご質疑等お願いいたします。

## ○石田（秀）委員

もちろん、これを来年やるのはそれでいいのですが、来年は、どれぐらいの規模まで、例えば大きくしていこうと思われているのか。前回のときは、ありがとうございます、来年も気合いをいれてもっと人を集めてやれるようにしますなどとおっしゃっていましたが、それはそれで非常にいいことだと私も思っています。それに向けて、日本ブラインドサッカー協会がもちろん一生懸命頑張るのだろうけれども、区としても、集客の部分では結構いろいろな、自分たちでやっても広報とかそういういろいろな協力できるところがあるではないですか。ブースをどのようにつくろうとか、先ほど言った、区をもっとアピールしていこうとか、機運醸成をどうしようとか、いろいろなやり方があるではないですか。そういうのはもう打ち合わせはしているのか、これからなのか、次に向かってどのように考えていらっしゃるのか。多分、予算組みのこともあるのだろうから、その辺のことをどうお考えになっているのか教えてください。

## ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

来年3月に同様のワールドグランプリを開くということで、予算も計上させていただいております。つい先日、キックオフということで、1回目の集まりがありました。その反省の中でも、やはり集客。障害者スポーツに関しては有料でとるとというのが、なかなか採算とれない場合が多いなか、集客等が課題だということも、日本ブラインドサッカー協会からお話がありました。そのあたりも、どのように区民の方に広めていくか。先日、6月のスポーツ大使の任命式の際に、スポーツ大使の1人として、ブラインドサッカーの主将川村怜さんにスポーツ大使になっていただきまして、そこでいろいろなお話もしていただいたのですが、アンケートの中で、ブラインドサッカーを知らなかったという方が結構多かったですね。ぜひ見てみたいというようなご意見もたくさんアンケートの中でいただいたところです。ということで、まだまだ私どもの周知も届いているようで届いていない、届いていなければ、やってもまだまだかなというところですので、来年度に向けてどのような形で区民に広めていくか、どうやって足を運んでいただくかということを日本ブラインドサッカー協会とも話をしながら考えていきたいと思っております。

## ○石田（秀）委員

これは少し無理があるけれども、例えばしながわ運河まつりなどは必ずやるわけですよ。天王洲などのキャナルフェス春もやるわけですよ。こういうところには前もって話をして、案内のチラシ等もつくるわけではないですか。そういうときに、こういうブラインドサッカーのものも載せてもらうとか、

天王洲であったら一緒に春フェスなどは、もしかするとうまく時間をずらすこともできるだろうし、協力体制とか協賛系も、多分やってくれる。それは話だけで、日本ブラインドサッカー協会の方々に言えば自分たちであたりに行くだろうし、そういう情報を投げると言うのか、こういうところにも動いてみるとどうかとか、一緒になってチラシづくりも協力してくれるのではないかと、そういうことは、せっかくあの時期にあの周りでいろいろやっているの、そういうことも含めて、何か情報を、せっかくキックオフをされたということであるならば、そういうことも一緒になって話ができているのかという確認だけとりたいです。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

ちょうどこの冊子の32ページのところですね。天王洲アイルの、今回の3月の大会には、地元の方もサポートするというので、プロジェクトの実行委員会をつくってくださって、たくさんご協力をいただいたところでございます。キックオフのときは、ひとまず行政と日本ブラインドサッカー協会だけの打ち合わせだったのですが、これからもまた地元の方のご協力を仰ぎながら、いい大会にしていきたいと思っています。

#### ○いながわ委員長

本件について、ほかに何かございますでしょうか。

ないようですので、ほかに、その他で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○いながわ委員長

ほかにないようでしたら、正副委員長よりご報告を申し上げます。

前回の委員会をお願いをいたしました、大会組織委員会との意見交換のテーマについて、各会派からご提出いただいたものを会派別・項目別に机の上に配布しておりますのでご覧いただきたく思います。

項目別は、テーマごとに分類したものです。上から順に「ボランティアについて」「集客について」「会場について」「文化プログラムについて」「レガシーについて」「交通について」「暑さ対策について」「行政との連携について」「ホスピタリティについて」と大きく分けて9つございます。

こちらをご覧いただき、各会派で補足の説明や追加のご意見等がございましたら、この場でお伺いしたいと思いますが、それぞれいかがでしょうか。

#### ○あくつ委員

1点だけ。品川区議会公明党の①のところで、前回委員会の中でホッケーのチケット代が非常にリーズナブルだというお話があって、こういうことを大会組織委員会に投げかけてみようかと思ったのですが、そもそもこういう自治体とか各種団体がチケットをまとめ買いすることというのは、現状で認められているのか、認められていないのか。認められていると言うのであれば、大会組織委員会に尋ねる必要もないので、その辺についての認識を教えてください。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

たまたま先日、組織委員会のチケットングの方が見えたときに、このことは確認をしたのですが、個人の方がID登録をして購入いただくというのが基本だという線です。しかしながら、地元を優先で見に来ていただきたいであるとか、席が余った場合にたくさん見に来ていただきたいという意味からすると、まとめ買いと言いますが、そういったことも考えてはいます、検討はしている段階ですというお答えはいただいております。

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

#### ○石田（秀）委員

1点だけ。先ほど、大会中にグッズを販売するのは権利がいろいろあって難しいという話があったので、少し気になったのですが、我々品川区議会自民党・子ども未来から出している、④会場周辺を区の考えでイベント使用したいときについて、どう考えているのかについて、例えば大井ふ頭中央海浜公園の中や、その周りで、我々はやったほうがいいだろうと思っています。どのように使うかわからないから野球場でも何でもいいのだけれども、ステージなどをつくって、いろいろなイベントをやることについては基本的に言ってもいいのか。

先ほどイベントのグッズなどは権利の問題があるからできないというような話もありましたけれども、こちらのほうはいいのかというのを確認だけお願いします。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

委員がおっしゃいますとおり、会場の中ではやはり厳しいけれども、外、会場周辺は大丈夫であると認識しております。ホッケー場を例に言いますと、入り口のところにセキュリティーがあって、荷物を載せて検査をして、チケットを見せて入ります。その中はやはり厳しいということです。その中でイベントを行うというのは少し厳しいかと、私の認識では思っております。

ただ、チケットを見せて入らない、外の部分です。例えば、まだ打診もしていませんけれども、反対側の公園のところなどはどういう使い方をするのか、確認しておりませんので、検討の余地があるかと思っております。

#### ○石田（秀）委員

確認ですが、チケットを出してというところなのですけれども、大井ふ頭中央海浜公園の会場があって、練習ピッチがありますよね。その隣は、例えば大田スタジアム、向こう側だと。こちら側に来ると野球場がありますよね。それは、今言った会場の中と判断されてしまうということ、大井ふ頭中央海浜公園の会場の中と見られてしまうのか。今、話しているのは、そうすると道路を挟んだ海寄り、あそこも名前自体は大井ふ頭中央海浜公園です。どこのことを会場と言うのがよくわからないです。そこ自体は会場だけれども、例えば野球場はだめなのかという、その辺のところがよく理解できなかったのですが。

#### ○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

私どもが聞いている話としては、野球場も含めて、道路に挟まれた部分が会場で、そこは大会組織委員会のエリアというふうに認識しております。私が言った、イベントに使えるかもしれないと言った部分は、道路を挟んでこちら側の、海側沿いの部分です。そちらはどのように使うか聞いておりませんので、検討の余地があるのではないかと思っております。

#### ○いながわ委員長

よろしいですか。

ほかに何かございますか。ないようでしたら、いただいたご意見をもとに正副委員長および理事者で調整させていただき、大会組織委員会との意見交換に向け、準備をしていきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○いながわ委員長

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

次に、次回の委員会についてご案内をさせていただきます。次回、9月20日の委員会では、「文化プログラムの推進に関すること」のうち「文化プログラムについて」、今までの文化プログラムの実施状況や今後の方向性について調査・議論をしていきたいと考えております。

また、「オリンピック・パラリンピックの推進に関すること」のうち、「国際交流についてなど」において、しながわ観光協会にお邪魔いたしまして、今年度実施予定の外国人観光客向け事業について視察をする予定でございます。

合わせて、区内で初めてとなるシティドレッシングが大井サンピア商店街で行われておりますので、その状況も確認していければと考えております。

それでは、以上でその他を終了いたします。

以上で、本日の予定は全て終了いたしました。

これもちまして、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会を閉会いたします。

○午後4時10分閉会